

治療審査委員会申請書類

患者ID :

患者氏名				生年月日			年齢			性別		
診療科			区分	☐	階病棟	☐	外来	申請医師名				
診断名								Stage			Performance Status	
告知内容												
治療方法	プロトコール名	BV+UFT/LV								告知Grade		
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積		m ²	
	血清クレアチニン		ml/dl		Cockcroft-Gault		推算Ccr		性別無し ml/min			
	※女性は0.85を掛けています											
	ベバシズマブ				mg /body (5mg/kg)		day1、15					
	ユーエフティー		※ 300		mg /日 1日3回		}		※3週間服用し、1週間休薬する			
	ホリナート錠		75		mg /日 1日3回		}		食事の前後1時間避けて8時間毎に内服			
	インターバル28日											
	※ <参考>UFT 1日の投与量とスケジュール											
	体表面積 (m ²)		UFT (mg/日)		1日の投与スケジュール(mg)							
					午前		午後		夜間			
<1.17		300		100		100		100				
1.17~1.49		400		200		100		100				
1.50~1.83		500		200		200		100				
>1.83		600		200		200		200				
day1												
① 生食100ml												
② ベバシズマブ _____ mg + 生食100ml												
初回90分、2回目60分、3回目以降30分まで短縮可(忍容性を評価する)												
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日												
併用薬の確認	併用注意 : フェニトイン(フェニトイン中毒)、ワルファリンカリウム(ワルファリンの作用増強) 他の抗悪性腫瘍剤や放射線照射(血液障害・消化管障害等の副作用が増強する)											
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()											
予測される副作用	貧血(8%)、悪心(6%)、下痢(6%)、倦怠感(8%)、高血圧(12%)、好中球減少(2%)など											
備考	◎対象: 高齢者や臓器機能障害を有し、強力な治療が適応とならない患者 J-Blue試験; 適格症例55例、年齢中央値80歳、PS0-1 奏功割合40%、PFS中央値8.2カ月、OS中央値23.8カ月 ※食事の影響を受けるので、食事の前後1時間を避けて投与すること											
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可											

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日